

GOKURAKUJI DAYORI  
極楽寺だより  
2022(令和4)年 6月号



発行所：極楽寺（浄土真宗本願寺派） ☎ 759-3803 山口県長門市三隅下野波瀬 3633 ☎ 0837-43-0625

# 夏法座のご案内

雨の季節には、仏さまの教えを聞き、静かにわが身をいりかえる「安居会」「夏安居」という行事が、お釈迦さまの頃から伝わっています。

田植時期の疲れを、お法の水で流そうという、ゆかしい夏の法座です。お誘いあわせ、お参り下さい。

六月十五日（水）

昼一時半【野波瀬の方】

夜七時半【自由参拝】

六月十六日（木）

昼一時半【野波瀬以外の方】

講師 山口市 蓮光寺住職

岡本達美 師

※ 今回も、地区別に参拝日を分けました。ご都合により、違う日にお参りされても構いません。

※ 長門市におけるコロナ禍の状況次第で、急遽中止となる場合もあります。

※ 市外の方は、申し訳ありませんが、今回も参拝自粛をお願いします。



マスク着用をお忘れなく！

# ご報告

5月8日の総代・世話人会議において、下記の通り  
収支決算の承認をいただきましたので、ご報告致します。



## 2021（令和3）年度極楽寺門徒会収支決算書

2021年4月1日～2022年3月31日

	費目	金額(円)	摘要	
収 入	門徒会会費	1,141,000	今年度分 264戸 × 4,000円 (野波瀬 103 / 在方 101 / 町外 60)	1,056,000
			今年度分不足分 1戸	1,000
			前納分 9戸	84,000
	本山教化助成金	0		
	保険金収入	65,753	落雷による非常警報設備破損により	
	特別会計より回金	82,747	落雷による非常警報設備取り替えの為	
	貯金利息	16	8/16 9円 2/21 7円	
前年度繰越金	2,577,939			
合計	3,867,455			
支 出	負担金	376,658	本山賦課金	212,108
			山口教区費	127,950
			大津東組 組費	36,600
	研修会費	0		
	火災保険料	302,980	西部農業共済	91,200
			JA 共済	161,680
			JF 共済	50,100
	本堂	6,700万円		
	庫裏	4,000万円		
	会議費	60,000	5/9 総代・世話人会議	
慶弔費	0			
営繕修理費	148,500	落雷による非常警報設備取り替えの為		
特別会計へ回金	1,500,000			
予備費	0			
合計	2,388,138			
差引残金	1,479,317	山口銀行普通預金		

## 2021（令和3）年度極楽寺門徒会 特別会計収支決算書

	費目	金額(円)	摘要	
収入	前年度繰越金	1,311,851		
	通常会計より回金	1,500,000		
	利息	24	8/16 10円 2/21 14円	
	合計	2,811,887		
支出	通常会計へ回金	82,747	落雷による非常警報設備取り替えの為	
	合計	82,747		
合計	2,729,140	山口銀行普通預金		

**門徒会費 4,000 円の納入をお願いいたします。**

三隅地区の方は世話人さんへ。

他地区の方は、直接お寺へ納入して下さい。



# 今年も極楽寺Tシャツ 受け付けます！



昨年製作しました「極楽寺Tシャツ」。大好評で、これまで130枚以上のお申込みをいただきました。今年も、一枚1,000円のご懇志で受け付けます。尚、これまではイラストが黒のみでしたが、違う色（例えば、黒地のTシャツに黄色のイラストとか…）も可能になりました。その際は1,500円と、割高となる場合もありますが、よろしければお申し出ください。



## ウクライナ緊急救援募金

ご協力有り難うございました



25,160 円



春の永代経法要で、ウクライナへの募金をお願いしたところ、上記の金額をご寄付いただきました。仏教国際ネットワークアユスを通して、支援団体に送らせていただきました。

夏法座でも、募金箱を設置いたします。ご協力よろしくお願いたします。

## 物でお布施 mono de ofuse

書き損じはがき・未使用切手・商品券  
未使用テレフォンカード・ビール券など金券  
CD・DVD・ゲームソフト・ゲーム機器など

換金し、海外の難民支援や国内災害の被災者  
支援に使わせていただきます。



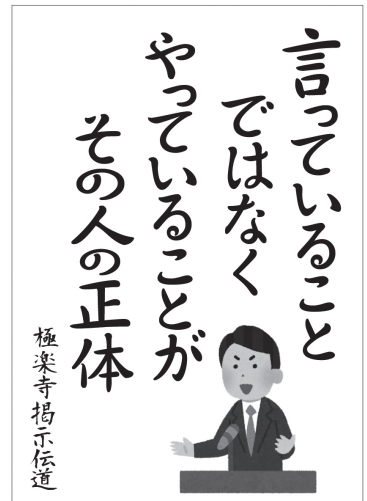
プルトップも  
集めています！

本堂の回収箱へ

残念なことに、今年は境内の八重桜が花をつけませんでした。どうすれば良いのか、現在対策を検討中です。何とか、来年は満開の姿を見せて欲しいものですが…。

# 月々の言葉

Monthly Words



## 6月の言葉

先日ある方から、「コロナ禍を通して、誰が信頼できるのか、

できないのかが、よくわかりました」と言われました。「誰も

感染したくないという気持ちはあるし、不安も抱えている。でも、

感染者に対する誹謗中傷や差別的な態度を見せられると、明日

は我が身なのに…と思う。自分が感染したら、どうなるのだろう。

そう考えるとゾツとする。トラブル

が起きた時にどうふるまうかに、そ

の人の人間性が見えてくることわ

かりました」と。

確かにそうだと思います。日頃ど

んなに立派なことを言っているも、

トラブルが起きれば正体が露わ、



Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

になる。学びを重ね、頭では理解したつもりでも、自分の問題として突きつけられたときに、本当の人間性が明らかになるのでしょう。

ならば自分の正体って、一体どんなものなのか。実際にその場に立ってみないと、自分でもわからないのかもしれない。思いもよらない自分の姿が見えてくるのかも…。

明治大学名誉教授の大塚初重先

生は、登呂遺跡発掘などに携わら

れた日本考古学界の第一人者で

す。大塚先生は、作家の五木寛之

さんと対談『弱き者の生き方』

という本で、戦争中に海軍兵とし

て乗っていた船が沈没し、漂流した経験を語られています。そ

の船から逃げ出す時に、仲間を蹴落としたということも。燃え

盛る船底から、垂れ下がったワイヤーロープにしがみつき、抜

け出そうとする大塚先生の脚に、二人も三人も必死でしがみつ

いてくる。自分の身体もずると船底に落ちていく。

「そのしがみついている人を私は両脚で蹴落としたんです。／

やっぱり生きたかった。ただそのためにやった殺人行為、

## 大塚初重



でした。だから、人間というのはいざというときには、何をす  
るか、何ができるか、もうわからない。もしあのとき、船底が  
燃えていなければ、私も「おい、つかまれ」と仲間に手を差し  
伸べたかもしれません。」

五木寛之さんも、十二歳で朝鮮半島からの引き揚げを経験さ  
れた方です。ソ連軍の進駐により、悲惨な状況だったと語られ  
ます。「マケドニアのアレクサンダー大王の時代から、軍隊が入  
城してきたら略奪、暴行は兵士の勝手。それができるんだとい  
うことを上官は兵隊たちに言っただけです。士気を鼓舞してい  
るわけですから、その日からやりたい放題がはじまるのは当然  
でした。」

毎晩自動小銃を抱えたソ連兵が、「マダム・ダヴァイ！（女を  
出せ）」と怒鳴つては、銃を乱射し  
て威嚇する。結局、どの女性を差し  
出すかということになると、若い娘  
さんや人妻は出せない。独身で、以  
前この人は隠れた商売でもやってい  
たのではないかという女性に、みん  
なの視線が集中してしまう。「頼む！  
行ってくれんか」という声がか



## 五木寛之

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

かると、もう覚悟していたように彼女は無言で立ち上つていく。  
そして翌朝、ボロ雑巾のようになって帰ってくる。その女性に  
対して、周りの母親が「だめよ。近づいたら。ああいうひとは  
病気をもっているんだから」と子どもに耳打ちをする。自分た  
ちを救ってくれた女性であるにもかかわらず差別が行われる。

そのような状況下で生き抜いた五木さんは、「人間の残酷性  
など別に驚きでもなければ、恐怖でもない。戦中・戦後に、人  
間というのは本来そういうものだということをいやというほど  
見聞きして育ったものですから」と言われます。同時に、「生き  
残ってきた人はそういう行為に加担しようがしまいが、やっぱ  
り悪人であるという意識を、私は十二、十三歳のころからずつと  
しよい込んでいました」とも語られるのです。

わずか八十年前の話です。お二人の言葉の前では、私はただ  
立ち尽くすしかありませんでした。もし私がその状況に置かれ  
たらどうふるまうのか…。とても想像できないほどのものでは  
が、しかし他人事ではないのでしょうか。なぜなら、これが人間  
の本性であり、私もその人間の一人だからです。

そんな五木さんは、親鸞聖人の言葉に救われたと語られます。  
「親鸞が法然から伝えられたという「悪人正機」という思想は、  
／悪人をこそ許すために仏がいるのだ、という考え方ですね。↙

この年になつてその思想にすぐ救われたように思うところが  
あります」(『弱き者の生き方』大塚初重・五木寛之)

状況によつて何をしでかすかわからない。それが人間の本性  
であり、その私を許し救うために、阿弥陀様のはたらきがある。  
だから、「聞き直つて生きていけばいい」ということではないの  
です。一皮剥けば悪人であるという事実を忘れない。痛みを、  
悲しみを抱き続けて生きる。そこにこそ、阿弥陀様の心が深く  
味わわれてくるのでしよう。

しかし損得や計算で考えれば、高名な名誉教授の大塚先生が、  
わざわざ人に知られたくない過去を語る必要はありません。向  
き合いたくないほどの重い過去であるほどに、目を背け隠すの  
が普通の感覚だと思ひます。けれども、大塚先生も五木さんも  
そうできなかったのは、自分の人生に誠実に向き合つておられ  
るからなのでしょう。お二人の生き方に、私は「この人たちの  
言葉は信頼できる」と思ひました。

状況によつて何をしでかすかわからないのが、私たちの正体  
なのです。いつも立派にふるまうことができるとは限らない。  
不安に流され逃げ出すことも、人を傷つけることもしかねない。  
そんな自分の弱さに、どれだけの痛みを感じるのか。どう向き  
合ふのか。実はその後のふるまいこそが、本当の人間性を表

すのではないでしようか。

五木さんは、この対談の「まえがき」で、こう書かれています。  
「私は長い年月、自分を／「悪人」としてうしろめたい思い  
を隠して生きてきた。それは極限状態のなかで、／選択の  
余地などなかったというのが事実である。しかし、だから  
と言つて、自分を許すことはできない。／

希望を語ることは、たやすい。人間の善き面を指摘する  
こともむずかしくはない。しかし、絶望の中に希望を、人  
間の悪の自覚のなかに光明を見ることは至難のわざである。  
大塚先生のお話には、それがあつた。私は戦後数十年にわ  
たつて背おい続けてきた重いものを、はじめて脇におろし  
たような気がしたのだ。

脇においたからといつて、それが消えるわけではない。  
しかし／改めてじっくりと眺めなおすことはできる。そし  
て、その重い荷を放置することなく、手に持つて運ぶ勇氣  
が感じられるとすれば、どれほどありがたいことだろう」

(『弱き者の生き方』大塚初重・五木寛之)

状況によつて何をしでかすかわからないのが私の正体である  
ならば、正体と向き合わずに語る希望は薄つぺらで、安易な

ものなのでしょう。しかし人生と誠実に向き合い、絶望をくぐり抜けた上で、なお希望を語ることができる人の言葉は重く、信頼できるものだと思えます。そして、親鸞聖人が語られる阿弥陀如来の慈悲のはたらきとは、まさに「絶望の中の希望」  
「悪の自覚のなかの光明」なのだ、私は思うのです。だからこそ、五木さんの心にも響くのでしよう。

自分の正体、丸裸の自分と向き合うことは、とても難しい。けれども、親鸞聖人の歩みに勇気を与えられ、阿弥陀様のはたらきに包まれて、その重い荷を運んできた人々の歩みがあるのです。自分の生き方をじっくりと見つめ直さねばならないと、背筋が伸びるような気がしています。 ■



極楽寺  
ホームページ

極楽寺.comで  
検索を

レイアウトを  
リニューアル  
しました



仏事、葬儀、納骨…、  
わからないことや  
困ったことがあれば、  
極楽寺にご相談ください。  
ご遠慮なく、どうぞ  
0837 (43) 0625

## 極楽寺だよりを 送いませんか

都会に出ておられる子どもさん、  
お孫さんたちへ。有縁の方々へ。  
お寺へお申し出下さい。直接郵  
送します。送り先が増えると、  
住職はうれしいのです。

古い仏具 使わないお線香  
お寺へお持ちください

本堂に回収箱を設置しております。



## 7月の言葉

以前、中学校で行われた「いじめ対策についての研修会」に、保護者として参加した時のことです。そこで、ある参加者から「どんな言葉を使うといいじめになるのか。そのリストは作られていないのか」という趣旨の発言がありました。ありがちな質問だとは思いますが、違和感を感じていたので、よくよく考えてみるとこの発想には、かなりの危さがあることに気づいたのです。

「この言葉を使つてはいけない」というルールさえ整備すれば、いじめや差別はなくなるのか。いや、決してそんなことはないのでしょうか。なぜなら、言葉は生き物だからです。時と場と関係性によって、また発する人のキャラクターや受け止める側の背景によって、同じ言葉でもまったく意味は変わる。つまり、「この言葉さえ使わなければいい」という

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

考え方は、また別のいじめの言葉を生み出しかねないので

お笑い芸人の劇団ひとりさんが監督した『浅草キッド』（2021年）は、ビートたけしさんの青春時代を描いた映画です。しかし、この映画で一番存在感があるのは、たけしさんの師匠である伝説の浅草芸人・深見千三郎（演じるのは大泉洋さん。めっちゃめっちゃカッコいい！）

でした。彼の口ぐせは、「バカヤロー」なのですが、この言葉には怒りや愛情、プライドや照れ隠し、弟子を一人前と認める思いなど、様々な意味が込められています。それを、深見という魅力的なキャラクターが発することで、また味わいのある言葉として伝わってきます（たけしさんの口ぐせ「なんだバカヤロー」は、師匠ゆずりなのどとか）。

この映画は、インターネットの動画配信会社ネットフリックスがオリジナルで制作したもので、映画館での上映は





ありません。ネットを通して全世界に配信され、世界中の人たちが見ることが出来ます。それについて監督の劇団ひとりさんは、「深見の「バカヤロー」に込められた色んな思いが、海外の人の伝わるのかなあ」と言われていました。確かに、人によってはパワハラと受け止められかねない可能性もある言葉です。しかし、この映画が描く時代と場所と関係性において、この言葉はとても重要なものでした。



つまり、言葉は生き物なのです。同じ言葉でも、温もりのあるものにもなれば、相手を傷つけることにもなります。その言葉そのものには侮蔑的な意味はなくても、背景や歴史を考えると、いじめや差別の言葉にもなりえるのです。

仏教の基本的な教え「縁起の道理」は、「すべての現象は、無数の原因や条件が関係し合って成立しているのであり、固定化した実体はない」という考え方です。すべてのものは、時と場と関係性によって成り立っていて、条件が変われば、

Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

実体も変わる。言葉も同じです。固定化したものではなく、条件が変わることで意味も変わるので。

「リストを作れ」というのは、言葉の固定化です。だとすれば、「例えば今なら、どんな言葉がいじめや差別につながるのでしょうか」という、一例をあげてもらおう質問であれば理解できます。現時点での問題点や、背景を考えるきっかけになりますから。

何より、「この言葉以外なら、良い」という安心感は、想像力を停止させてしまう。これが一番危険です。決められたルールさえ守れば、あとは何をしても良いという考えは、相手を傷つけていても気がつかないということ。みんながルールを守りながらも、いじめは続いていく。これにはゾッとします。無自覚だから躊躇いもない。ブレーキもかからない。それだけ相手の傷は深いのです。昨今のSNSでの書き込みで、何人も人がいのちを絶つていることを思えば、その恐ろしさは身につまされます。

そもそも、困る人や悲しむ人がいるから、ルールや法理はあるのでしょうか。人のためのルールであることが大前提。ところが「ルールさえ守れば、あとは何をしてもいい」という態度では、人が見失われてしまいます。ならば、私た

ちがまずすべきは、相手への想像力をはたらかせること。アンテナを張り、相手の思いに耳を傾けることでしょう。

仏教にも守るべき行いのルールがあり、これを「戒」と言います。有名なものが、在家の信者が守るべき「五戒」です。

- ① 不殺生戒（生き物を殺さない）
- ② 不偷盜戒（盗みをしない）
- ③ 不邪淫戒（男女の間を乱さない）
- ④ 不妄語戒（嘘をつかない）
- ⑤ 不飲酒戒（酒を飲まない）

「戒」と聞くと重々しく聞こえますが、

もともとインドのサンスクリット語で

は「シーラ」といって、「習慣づける」という意味合いが強い言葉です。習慣づけて、肌感覚として身につけるものなのです。

とは言っても現代社会の生活で、「生き物を殺さない」「嘘をつかない」「酒を飲まない」というのは、無理がありますよね。私たちは、教え通りに生きることにはなかなかできません。でも、このような指針がなければ、自分がどんな生き方をしていいのかもわかりません。教えがあるからこそ、守る

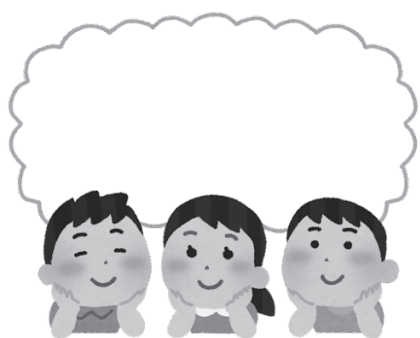


Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words ~ Monthly Words

れていない自覚が生まれる。立ち止まり、振り返ることができきる。ブレーキもかかり、「せめてこれくらいは」という慎重みも生まれてきます。

そして、たとえ「戒」を守る生活ができたとしても、そこには大きな落とし穴があることを、仏教は強く警戒します。「自分は、規則を守っている」という自負は、守れない人への行き過ぎた厳しさや蔑みにもつながります。時には、いじめや差別にもなりかねません。「戒」を守るのは歩みの始まりではあっても、ゴールではないのです。少しばかり勝れた境地に達したからといって、歩みを止めてはならないと、お釈迦様も厳しく指摘しておられます。

ルールを守っていれば、あとは何をしても良いわけではありません。ルールには定められていなくても、やってはいけないことがあるのです。自分の生き方を見つめ、振り返りながら、相手の思いを聞いていく。習慣づけ、肌感覚として身につけようとする。その歩みを止めた時、いじめや差別は起こるのだと教えられるのです。■





# ワンピース 大人気マンガ『ONE PIECE』に、 からもん 西本願寺の唐門が登場?!

(本願寺新報 2022年4月10号より)



京都・西本願寺境内の南側に、国宝・唐門があります。昨年9月に、約40年ぶりの修復工事が終わり、鮮やかな姿が蘇りました。その唐門が、マンガ『ONE PIECE』に登場しているのを、ご存知でしょうか。

『ONE PIECE』は、週刊少年ジャンプに連載中。世界中にファンを持ち、単行本は現在102巻、累計発行部数は4億9000万部の大人気作品です。

唐門がモデルになったのは、江戸時代以前の日本をモチーフにした街並みが描かれる“ワの国編、のオロチ城に入る門（単行本第90巻第900話）。作者の尾田栄一郎さんは、2017年に作画資料収集のために京都を訪れ、最初に取材したのが西本願寺だったそうです。単行本をお持ちの方は、ぜひ探してみてくださいね。また、『ワンピース・マガジン vol.6』には、尾田さんが本願寺取材時に描いたスケッチが紹介されています。



『ONEPIECE』に描かれた門



## 国宝『唐門』

1951年、本願寺が現在地に移転した直後に建立された。豪華絢爛な桃山文化を今に伝えるものとして、国宝に指定されている。中央がふくらんだ曲線を持つ唐破風の屋根から「唐門」と呼ばれ、また彫刻や彩色の豪華さに見入り、日が暮れるのも忘れてしまうところから、「日暮門」とも呼ばれている。

## からもん 唐門を見に行きませんか？

来年2023（令和5）年3月より西本願寺で、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が勤められます。三隅地区では、団体参拝を計画しています。コロナ禍は心配ですが、ぜひご一緒に法要に参拝し、唐門を実際に見に行きませんか？詳細は、改めてご案内いたします。



2023（令和5）年  
親鸞聖人御誕生850年  
立教開宗800年 慶讃法要



# 第38回児童念仏奉仕団のご案内

Oshirase

開催できるか、わかりませんが…

大津東組（長門・三隅地区の浄土真宗寺院）では、夏休みを利用して小学三年生から中学一年生を対象に、ご本山参りを企画しております。是非、ご参加のお呼びかけをお願いします。

- ◆ 期 日 2022(令和4)年7月26日(火)～28日(木)二泊三日  
本願寺参拝 大阪ユニバーサルスタジオジャパン
- ◆ 対 象 小学三年生～中学一年生
- ◆ 参加費 55,000円(中学生は、65,000円)
- ◆ 申込み 6月30日までに極楽寺へ ※ 詳細は、お寺へおたずねください。



## 夜のご法座へのお参り有り難うございます！



一時期、夜のご法座へのお参りが少なくなり、「どうなることか」と心配していましたが、最近はお参りされる方が少しずつ増えてきました。皆様のお陰で、夜の座が続けられることは、本当に有り難いことだと思っております。夜の座は、お勤めとお話を含めて約一時間です。昼間のお仕事でお疲れの方も多いかと思いますが、これからも、ぜひお参りください。もっと多くの方に来ていただくと、住職はもっと嬉しいのです。

## 昼のご法座へお参りされた方にも感謝しております！

モチロン、お昼の座へお参りされる方にも、感謝、感謝です。お寺に足を運び、大人数の人と共に、仏法を聞く。これは、快適なプライベート空間で、思い通りに楽しもうという、近頃の嗜好とは真逆な行為です。だからこそ、日常では気づけない大切なことを知らされる場なのだと思います。自分の欲望を求める生活は、目には見えない豊かな世界、与えられているご恩や恵みを感じるセンサーを鈍らせていきます。人生をより深く、豊かにいただくには、法座はサイコーの場！この営みを次世代につなげていくためにも、ぜひぜひ、お誘いあわせてお参りください。



□ 今年の広島カープは、ひと味違う！負け試合にも粘りがあり、何かやってくれるのではという思いがします。とはいえ、ここ数年の悪夢が染みついている私は、「あまり期待しすぎてもいけない」と自重しながら、一喜一憂する毎日です。しかし、阪神タイガースのスタートはヒサンでしたね。一度歯車が狂ってしまうと、何をやっても上手くいかない姿は、以前のカープを見ているようです。阪神ファンの方々は、さぞやつらい思いをしておられることでしょう。お気持ちは、よくわかります。本当に…。□しかし、こうして野球の結果に一喜一憂できるのも、平和だからこそなのだと思います。戦争が起れば、野球どころではありません。このひと時を大切にするためにも、平和であって欲しい。強くそう思っています。(住職)

次回法座の予定

盆法座 8月14日(日) 15日(月) 朝9時より

人の移動が多い時期ですから、もしかすると勤修は厳しいかもしれません…